

2009年(平成21年)7月18日(土曜日)

# 天敵のにおいサル撃退



中日本高速「効果は予想以上」

## オオカミの尿入り液剤

高速道路に出没するサル対策として、中日本高速道路名古屋支社桑名保全・サービスセンター(三重県桑名市)が、オオカミの尿を使った液剤をフェンスに取り付け、効果を上げている。

この液剤は、都内の総合商社「エイアイ企画」が輸入した商品で、アメリカにあるオオカミの保護施設で採取した尿を除菌して作られたという。

同センターによると、今年3月、新名神高速道の土山サービスエリア(滋賀県甲賀市)のフェンスに、50リットル入り容器を6メートル間隔で付けたところ、サルが近寄らなくなった。同高速道の開通した昨年2月以降、サルが侵入するケースが7件あったといい、同センターの担当者は「天敵のにおいだけなのに、効果は予想以上だった」と驚き、同様にサルの侵入が目立つ桑名市の大山田パーキングエリアへの設置も検討している。